

# 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## 【PLAN】

### 事務事業の目的と成果

事業名	市道改良舗装事業（補助）				事業期間	— 年度 ~ — 年度								所管課係	土木課土木係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第6期総合計画の位置付け	4-1-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—	—	
目的 (何のために実施するのか)	歩車道を区分した整備を行い、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行を確保する。						手段 (どのような方法で実現するのか)	車道7.5m、片側または両側歩道2.5mまたは両側施設帯1.7mの幅員で、路盤改良及び舗装と排水施設等を、請負工事により効果的・効率的に行う。 なお、本事業は社会資本整備総合交付金（国庫補助）を活用する。								
対象 (誰・何を対象としているのか)	主に幹線道路で、二次改築及び橋梁架換を必要とする市内路線及び道路利用者。						成果 (どのような効果が得られるのか)	道路状況に応じた、効果的・効率的な改良舗装が進む。								
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	自家用車保有台数の拡大などに伴って交通量が増大し、幹線的な役割を果たす市道における交通の円滑化を図る必要が高まってきたことから、計画的に改良舗装を行っている。															

## 【DO】

### 実績

（単位：円）

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国 費	計画額	9,000,000	19,200,000	16,200,000	44,400,000	15,600,000	28,800,000	32,400,000	76,800,000	29,040,000	51,100,000	23,400,000	149,400,000	252,940,000	374,140,000
		予算計上額	19,200,000	25,800,000	12,000,000	57,000,000	16,900,000	31,200,000	31,200,000	79,300,000	29,040,000	55,355,000	100,852,000	130,680,000	315,927,000	452,227,000
		実績額	7,497,000	15,372,000	17,325,000	40,194,000	8,002,800	9,126,000	9,301,000	26,429,800	11,303,000	27,899,000	67,302,000	74,058,000	180,562,000	247,185,800
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額	6,000,000	12,800,000	10,800,000	29,600,000	9,000,000	19,200,000	21,600,000	49,800,000	18,900,000	30,900,000	15,600,000	99,600,000	165,000,000	244,400,000
		予算計上額	12,800,000	17,500,000	8,200,000	38,500,000	9,100,000	16,800,000	16,800,000	42,700,000	18,900,000	39,345,000	65,848,000	62,320,000	186,413,000	267,613,000
		実績額	4,900,000	13,300,000	10,100,000	28,300,000	4,300,000	4,914,000	5,009,000	14,223,000	7,300,000	18,217,000	77,576,000	57,800,000	160,893,000	203,416,000
	そ の 他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一 般 財 源	計画額				0	1,400,000	0	0	1,400,000	60,000	0	0	0	60,000	1,460,000	
	予算計上額	0	160,000	20,000	180,000	0	0	0	0	60,000	0	0	0	60,000	240,000	
	実績額	98,000	93,500	190,000	381,500	9,200	0	0	9,200	81,000	0	0	32,000	113,000	503,700	
事業費合計	計画額	15,000,000	32,000,000	27,000,000	74,000,000	26,000,000	48,000,000	54,000,000	128,000,000	48,000,000	82,000,000	39,000,000	249,000,000	418,000,000	620,000,000	
	予算計上額	32,000,000	43,460,000	20,220,000	95,680,000	26,000,000	48,000,000	48,000,000	122,000,000	48,000,000	94,700,000	166,700,000	193,000,000	502,400,000	720,080,000	
	実績額	12,495,000	28,765,500	27,615,000	68,875,500	12,312,000	14,040,000	14,310,000	40,662,000	18,684,000	46,116,000	144,878,000	131,890,000	341,568,000	451,105,500	
事業費予算の内容		L=150m W=7.5+2.5m	L=190m W=7.5m(+2.5m)	L=100m W=7.5m		L=120m W=7.5m	L=310m W=7.5m	L=270m W=7.5m		L=280m W=7.5m	L=315m W=7.5mor8.0m+2.5m	L=170m W=7.5mor8.0m+2.5m	L=206m W=7.5m+2.5m+2or8.0m+2.5m			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度比85.6% (事業延長の減)	前年度比135.8% (事業箇所、延長の増)	前年度比46.5% (事業箇所、延長の減)		前年度比128.6% (事業箇所の変更、延長の増)	前年度比184.6% (事業箇所の変更、延長の増)	前年度比100.0%		前年度比100.0%	前年度比197.3%	前年度比176.0%	前年度比115.8%			
	実績との比較 (増減理由)	実施延長L=99mに削減(交付金削減による事業延長の減)	交付金の削減による事業内容等の見直し	交付金の削減及び大型補正による事業内容等の見直し		交付金の削減及び大型補正による事業内容等の見直し	交付金の削減による事業内容等の見直し	交付金の削減による事業内容等の見直し		交付金の削減による事業内容等の見直し	交付金の削減による事業内容等の見直し	交付金の削減による事業内容等の見直し	交付金の削減による事業内容等の見直し			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：工事実施率			指標の求め方：実施箇所/予定箇所										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：整備率			指標の求め方：整備累計延長/6期総合計画の計画延長 (1665m)										
指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 1 (単位/%)	計画値	6.0	13.2	20.7		33.6	46.8	61.9		73.9	82.6	91.3	100.0		
	実績値	5.9	18.3	32.0		36.4	41.5	46.3		56.6	64.6	74.7	79.7		
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている					達成されている					達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている					上がっている					上がっている
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない					変わらない					変わらない
	総合評価				良好である					良好である					良好である
	評価内容	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られた。</p> <p>総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られた。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られた。</p> <p>また、緊急対策事業（大型補正）を活用し、事業促進が図られた。</p>	<p>判断理由： 交付金による補助事業を行っており、近年は要望している金額に対して減額での交付決定となっているため事業延長等の減が見られるが、事業内容では歩車道を区分した整備により、安全かつ円滑な通行が図られているため良好と判断した。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られた。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られた。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られたが、補助金（交付金）の配当が削減されたため、大幅に事業延長の減となった。</p>	<p>判断理由： 交付金による補助事業を行っており、近年は要望している金額に対して減額での交付決定となっているため事業延長等の減が見られるが、事業内容では歩車道を区分した整備により、安全かつ円滑な通行が図られているため良好と判断した。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られたが、補助金（交付金）の配当が削減されたため、大幅に事業延長の減となったが、市単独費により事業の促進を図った。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られたが、補助金（交付金）の配当が削減されたため、大幅に事業延長の減となったが、市単独費により事業の促進を図った。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られたが、補助金（交付金）の配当が削減されたため、事業延長の減となったが、橋梁事業においては、市単独費により事業の促進を図った。</p>	<p>自己分析： 歩車道を区分した整備により、歩行者及び車両の安全かつ円滑な通行が図られたが、補助金（交付金）の配当が削減されたため、事業延長の減となったが、橋梁事業においては、市単独費により事業の促進を図った。</p>	<p>判断理由： 交付金による補助事業を行っており、近年は要望している金額に対して減額での交付決定となっているため事業延長等の減が見られるが、事業内容では歩車道を区分した整備により、安全かつ円滑な通行が図られているため良好と判断した。</p>	
今後の方向性					現状のまま継続					現状のまま継続					現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	<p>H25： 市道改良舗装事業は、市民や町内会からの要望が多く、市内道路網において、安全かつ円滑な通行を図るために、今後も継続する事業と考える。</p>				<p>H28： 市道改良舗装事業は、市民や町内会からの要望が多く、市内道路網において、安全かつ円滑な通行を図るために、今後も継続する事業と考える。</p>				<p>H30： 市道改良舗装事業は、市民や町内会からの要望が多く、市内道路網において、安全かつ円滑な通行を図るために、今後も継続する事業と考える。</p>						

# 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 査 書

## 【PLAN】

### 事務事業の目的と成果

事業名	市道改良舗装事業（単独）				事業期間	— 年度 ~ — 年度			— —	— —	— —	— —	所管課係	土木課土木係
	事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		建設	第6期総合計画の位置付け	4-1-1						
目的 (何のために実施するのか)	歩車道を区分した整備を行い、歩行者及び車輛の安全かつ円滑な通行を確保する。					手段 (どのような方法で実現するのか)	車道7.5m、片側または両側歩道2.5mまたは両側施設帯1.7mの幅員で、路盤改良及び舗装と排水施設等を、請負工事により効果的・効率的に行う。なお、本事業は社会資本整備総合交付金（国庫補助）を活用する。							
対象 (誰・何を対象としているのか)	主に幹線道路で、二次改築及び橋梁架換を必要とする市内路線及び道路利用者。					成果 (どのような効果が得られるのか)	道路状況に応じた、効果的・効率的な改良舗装が進む。							
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	自家用車保有台数の拡大などに伴って交通量が増大し、幹線的な役割を果たす市道における交通の円滑化を図る必要が高まってきたことから、計画的に改良舗装を行っている。													

## 【DO】

### 実績

（単位：円）

	国	道	地方債	その他	一般財源	事業費合計	事業費予算の内容	前年度予算との比較 (増減理由)	実績との比較 (増減理由)	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
										第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	費	計	画	額						0											0			
			算	計	上	額																	0	
			実	績	額																			0
	費	計	画	額							0												0	
			算	計	上	額																		0
			実	績	額																			0
	地	方	債	計	画	額	182,800,000	209,500,000	272,300,000	664,600,000	224,700,000	213,400,000	267,000,000	705,100,000	216,900,000	406,800,000	482,600,000	453,400,000	1,559,700,000	2,929,400,000				
				算	計	上	額	184,200,000	204,400,000	280,600,000	669,200,000	221,700,000	282,400,000	294,700,000	798,800,000	241,600,000	299,300,000	310,750,000	140,400,000	992,050,000	2,460,050,000			
				実	績	額	160,700,000	182,900,000	274,300,000	617,900,000	211,600,000	273,975,000	294,400,000	779,975,000	237,000,000	303,351,156	288,383,200	208,868,000	1,037,602,356	2,435,477,356				
	そ	の	他	計	画	額				0									0	0				
				算	計	上	額				0								0	0				
				実	績	額				0									0	0				
	一	般	財	源	計	画	額	162,200,000	94,200,000	91,200,000	347,600,000	24,600,000	80,100,000	53,200,000	157,900,000	26,350,000	95,840,000	107,440,000	97,180,000	326,810,000	832,310,000			
					算	計	上	額	158,890,000	53,560,000	50,455,000	262,905,000	27,600,000	92,110,000	26,050,000	145,760,000	24,650,000	5,200,000	9,100,000	3,700,000	42,650,000	451,315,000		
					実	績	額	155,795,500	54,018,633	36,236,000	246,050,133	14,230,400	98,917,200	31,631,000	144,778,600	23,247,600	4,892,400	6,382,800	15,268,000	49,790,800	440,619,533			
	事	業	費	合	計	画	額	345,000,000	303,700,000	363,500,000	1,012,200,000	249,300,000	293,500,000	320,200,000	863,000,000	243,250,000	502,640,000	590,040,000	550,580,000	1,886,510,000	3,761,710,000			
						算	計	上	額	343,090,000	257,960,000	331,055,000	932,105,000	249,300,000	374,510,000	320,750,000	944,560,000	266,250,000	304,500,000	319,850,000	144,100,000	1,034,700,000	2,911,365,000	
						実	績	額	316,495,500	236,918,633	310,536,000	863,950,133	225,830,400	372,892,200	326,031,000	924,753,600	260,247,600	308,243,556	294,766,000	224,136,000	1,087,393,156	2,876,096,889		
移	事業費予算の内容		工事：22箇所委託：22箇所 工事延長：L=3,434m	工事：13箇所委託：7箇所 工事延長：L=1,735m	工事：14箇所委託：6箇所 工事延長：L=2,080m	工事：9箇所委託：7箇所 工事延長：L=1,754m	工事：19箇所委託：7箇所 工事延長：L=3,229m	工事：18箇所委託：4箇所 工事延長：L=2,139m	工事：10箇所委託：5箇所 工事延長：L=1,630m	工事：12箇所委託：3箇所 工事延長：L=1,950m	工事：12箇所委託：3箇所 工事延長：L=1,371m	工事：7箇所委託：4箇所 工事延長：L=430m												
	前年度予算との比較 (増減理由)		前年度比131.5% (事業箇所の増)	前年度比76.3% (事業箇所の減)	前年度比128.3% (事業箇所及び延長の増)	前年度比75.3% (事業箇所及び延長の減)	前年度比150.2% (事業箇所及び延長の増)	前年度比85.6% (事業箇所及び延長の減)	前年度比83.0% (事業箇所及び延長の減)	前年度比114.4% (事業箇所及び延長の増)	前年度比105.0% (事業面積の増)	前年度比45.1% (事業箇所及び延長の減)												
実績との比較 (増減理由)		事業箇所や延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	補正による事業箇所の増、延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	補正による事業箇所の増、延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減	事業箇所や延長等の精査及び入札による減												

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：工事実施率			指標の求め方：実施箇所/予定箇所										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：整備率			指標の求め方：整備累計延長/6期総合計画の計画延長 (25364m)										
指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	
指標	成果指標 1 (単位/%)	計画値	14.0	22.5	34.9		45.6	56.0	64.9		74.2	84.5	94.3	100.0	
		実績値	13.5	20.4	28.6		35.5	48.5	57.1		63.1	69.4	74.7	76.9	
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている					ほぼ達成されている				ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている					上がっている				上がっている
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない					変わらない				変わらない
	総合評価					良好である					良好である				良好である
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	判断理由：道路の状況に応じ、事業箇所を変更しているが、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られているため、良好と判断した	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	判断理由：道路の状況に応じ、事業箇所を変更しているが、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られているため、良好と判断した	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	自己分析：道路状況に応じ、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られた。	判断理由：道路の状況に応じ、事業箇所を変更しているが、効果的、効率的な改良舗装が進み、安全で快適な生活道路網の整備が図られているため、良好と判断した
今後の方向性					現状のまま継続					現状のまま継続					現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：市道改良舗装事業は、市民や町内会からの要望が多く、市内道路網において、安全かつ円滑な通行を図るために、今後も継続する事業と考える。				H28：市道改良舗装事業は、市民や町内会からの要望が多く、市内道路網において、安全かつ円滑な通行を図るために、今後も継続する事業と考える。				H30：市道改良舗装事業は、市民や町内会からの要望が多く、市内道路網において、安全かつ円滑な通行を図るために、今後も継続する事業と考える。					



【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：工事実施率				指標の求め方：実施箇所/予定箇所									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：設置率				指標の求め方：設置累計灯数/6期総合計画の計画灯数 (97基)									
指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		81.8	75.0	78.6	46.7		
成果指標 1 (単位/%)	計画値	5.2	11.3	18.6		26.8	36.1	46.4		57.7	70.1	84.5	100.0		
	実績値	5.2	11.3	18.6		26.8	36.1	46.4		55.7	64.9	76.3	83.5		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている					達成されている					ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている					上がっている					あまり上がっていない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない					変わらない					変わらない
	総合評価				良好である					良好である					良好である
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	判断理由：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られているため、良好と判断した。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	判断理由：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られているため、良好と判断した。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	自己分析：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られた。	判断理由：夜間の道路状況を把握するための環境が確保され、道路交通の安全、円滑化が図られた。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られているため、良好と判断した。
	今後の方向性				現状のまま継続					現状のまま継続					統合
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：夜間の道路交通の安全、円滑化を図るためにも街路灯の設置は必要と考えるため、継続する事業と考える。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られているため、今後も継続して使用する。				H28：夜間の道路交通の安全、円滑化を図るためにも街路灯の設置は必要と考えるため、継続する事業と考える。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られているため、今後も継続して使用する。				H30：夜間の道路交通の安全、円滑化を図るためにも街路灯の設置は必要と考えるため、継続する事業と考える。また、LED型を使用することにより、電気料の削減、温室効果ガスの排出削減が図られているため、今後も継続して使用する。					

# 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## 【PLAN】

### 事務事業の目的と成果

事業名	雪寒機械更新事業				事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 32 年度					所管課係	土木課維持係	
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設	第6期総合計画の位置付け	4-1-2	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	
目的 (何のために実施するのか)	冬季間の交通の安全を図るための除雪事業で使用する除雪機械（直営車両）を計画的に更新する。							手段 (どのような方法で実現するのか)	老朽化した除雪機械を国庫補助事業を利用して、計画的に更新する。				
対象 (誰・何を対象としているのか)	補助事業の対象となる除雪機械（直営車両）							成果 (どのような効果が得られるのか)	除雪事業の委託に運転費の安価な直営車両を使用することにより委託費が軽減される。				
事業開始時の状況・これまでの経緯（行内内容含む）	購入から15年以上経過した車両につき、更新要望を随時行っている。												

## 【DO】

### 実績

(単位: 円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額		9,361,000	14,469,000	23,830,000	13,200,000	14,622,000	13,182,000	41,004,000	0	13,182,000	14,469,000	16,283,000	43,934,000	108,768,000
		予算計上額		0		0		0	0	0	0	0	0		0	0
		実績額		7,539,000	9,142,000	16,681,000	7,920,000	0	0	7,920,000	0	17,309,000			17,309,000	41,910,000
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額		12,500,000	7,900,000	20,400,000	8,400,000	9,400,000	12,300,000	30,100,000	0	12,300,000	7,900,000	12,400,000	32,600,000	83,100,000
		予算計上額		0		0		0	0	0	0	0			0	0
		実績額		4,800,000	5,600,000	10,400,000	11,500,000	0	0	11,500,000	0	9,500,000			9,500,000	31,400,000
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額		697,000	485,000	1,182,000	521,000	569,000	693,000	1,783,000	0	693,000	485,000	750,000	1,928,000	4,893,000
		予算計上額		0		0		0	0	0	0	0		0	0	0
		実績額		72,000	294,000	366,000	20,000	0	0	20,000	0	1,163,000	0		1,163,000	1,549,000
事業費合計	計画額	0	22,558,000	22,854,000	45,412,000	22,121,000	24,591,000	26,175,000	72,887,000	0	26,175,000	22,854,000	29,433,000	78,462,000	196,761,000	
	予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	12,411,000	15,036,000	27,447,000	19,440,000	0	0	19,440,000	0	27,972,000	0		27,972,000	74,859,000	
事業費予算の内容			除雪ドーザ 13t級 1台 国庫補助の結果が出るのを待ったため当初予算0。 6月補正 19,915千円 国費10,400千円 地方債 9,300千円 一般財源 215千円	大型補正で購入できることとなったため。 H24.3月会期内補正 26,966千円 国費17,200千円 地方債 9,600千円 一般財源 166千円		小型ロータリ 1.3m/700t級 1台 国庫補助の結果が出るのを待ったため当初予算0円。 6月補正 20,393千円 国費7,920千円 地方債 9,500千円 一般財源 2,973千円	車両更新年次を見直し延伸したため、予算0円	車両更新年次を見直し延伸したため、予算0円		グレーダ 2.7m級 1台 国庫補助の配当がつかなかったため次年度へ延伸	グレーダ 2.7m級 1台 国庫補助の結果が出るのを待ったため当初予算0。	除雪ドーザ 13t級 1台 国庫補助の結果が出るのを待ったため当初予算0。	除雪ドーザ 13t級 1台 国庫補助の結果が出るのを待ったため当初予算0。			
	前年度予算との比較 (増減理由)			H25購入予定の除雪ドーザをH24大型補正で購入したため												
	実績との比較 (増減理由)						補助金が減額されたため、地方債及び一般財源で充当した。							計画当初と機械の仕様が変わり排出ガス規制対応の車両となったため		

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：更新事業費			指標の求め方：計画的な更新が望ましいが国庫補助の採択等によるところが大きいため事業費の実績管理のみとする											
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：除排雪の委託費			指標の求め方：除排雪の委託費											
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指標	成果指標 1 (単位/千円)	計画値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		実績値	276,558	246,889	274,480	244,979	299,416	198,559		404,279	266,709	207,842	441,321			
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				あまり達成されていない					あまり達成されていない					あまり達成されていない	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない					変わらない					変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない					変わらない					変わらない	
	総合評価				普通である					普通である					普通である	
	評価内容	自己分析： 要望を行ったが、補助採択されなかったため、次年度で再度要望する。	自己分析： 補助採択されたため、購入できた。	自己分析： 補助採択されたため、購入できた。	判断理由： 要望は、行っているが、補助採択されない場合もあるため、計画どおりに進まないのこのよう判断をした。	自己分析： 補助採択されたため、購入できた。	自己分析： 車両更新年次を見直し延伸したため、購入を見送った。	自己分析： 車両更新年次を見直し延伸したため、購入を見送った。	判断理由： 要望は、行いたいが必要とする重機が製造されていない状況もあり、更新を見送ったためこのよう判断をした。	自己分析： 要望を行ったが、補助採択されなかったため、次年度で再度要望する。	自己分析： 補助採択されたため、購入できた。	自己分析： 要望を行ったが、補助採択されなかったため、次年度で再度要望する。	自己分析： 要望を行ったが、補助採択されなかったため、次年度で再度要望する。	判断理由： 要望は、行っているが、補助採択されない場合があり計画どおりに進まないのこのよう判断をした。		
今後の方向性				現状のまま継続					現状のまま継続					現状のまま継続		
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：補助採択されるかどうかによって、購入計画は、不安定ではあるが引き続き要望する必要がある。				H28：排出ガス規制のため重機の製造が見合わせられている状況だが、今後の情報に注視して慎重に購入計画を立てなければならない。また、補助採択されるかどうかによって、購入計画は、不安定ではあるが引き続き要望する必要がある。				H30：補助採択されるかどうかによって、購入計画は、不安定ではあるが引き続き要望し安定した除雪機械体制をとる必要がある。							

# 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## 【PLAN】

### 事務事業の目的と成果

事業名	除排雪事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度								所管課係	土木課維持係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	4-1-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—	—	
目的 (何のために実施するのか)	冬期間の交通障害をなくし市民の安全な生活を守る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		業者委託により道路及び歩道の雪を機械並びに人力で除排雪を行う。							
対象 (誰・何を対象としているのか)	市道及び生活道路						成果 (どのような効果が得られるのか)		交通障害を防止でき、市民の安全な生活が守られる。							
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	平成20年度より砂川道路管理協同組合に委託し、コストの縮減及び業務の効率化を図っている。															

## 【DO】

### 実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額	6,200,000	6,200,000	6,200,000	18,600,000		2,000,000	2,000,000	4,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	8,000,000	30,600,000
		予算計上額	6,200,000	1,200,000		7,400,000		2,000,000	1,800,000	3,800,000	2,000,000	3,400,000	3,400,000	3,400,000	12,200,000	23,400,000
		実績額	32,700,000	1,200,000	1,206,000	35,106,000	2,000,000	1,794,000	1,649,000	5,443,000	45,637,000	1,633,000	3,907,000	2,808,000	53,985,000	94,534,000
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	161,091,000	161,091,000	161,091,000	483,273,000	245,506,000	243,506,000	243,506,000	732,518,000	270,779,000	254,042,000	254,042,000	254,042,000	1,032,905,000	2,248,696,000
		予算計上額	161,091,000	170,936,000	184,445,000	516,472,000	245,506,000	258,952,000	256,042,000	760,500,000	272,779,000	282,714,000	292,296,000	292,803,000	1,140,592,000	2,417,564,000
		実績額	238,714,104	245,689,254	273,274,817	757,678,175	242,978,504	297,622,601	197,367,453	737,968,558	362,457,051	268,639,253	207,466,116	442,108,047	1,280,670,467	2,776,317,200
	事業費合計	計画額	167,291,000	167,291,000	167,291,000	501,873,000	245,506,000	245,506,000	245,506,000	736,518,000	272,779,000	256,042,000	256,042,000	256,042,000	1,040,905,000	2,279,296,000
		予算計上額	167,291,000	172,136,000	184,445,000	523,872,000	245,506,000	260,952,000	257,842,000	764,300,000	274,779,000	286,114,000	295,696,000	296,203,000	1,152,792,000	2,440,964,000
		実績額	276,558,324	246,889,254	274,480,817	797,928,395	244,978,504	299,416,601	199,016,453	743,411,558	408,094,051	270,272,253	211,373,116	444,916,047	1,334,655,467	2,875,995,420
事業費予算の内容	除排雪等委託料 消耗品費 修繕料(機械)															
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	燃料単価高騰による増	人件費の増		出勤回数及び排雪費の見直しによる増	人件費の増	燃料費の減		人件費の増	人件費、燃料単価の増	人件費、燃料単価の増	人件費、燃料単価の増			
	実績との比較 (増減理由)	大雪による降雪量の増	低温による積雪量の増	低温による積雪量の増		降雪量の減	降雪量の増	降雪量の減		降雪量の増	降雪量の減	降雪量の減	降雪量の増			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：除排雪委託費	指標の求め方：その年の降雪量の多さによるところもあるので計画値は設定せず実績管理のみとする
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：交通障害回数	指標の求め方：大規模な交通障害が起きた回数

指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	評価	
	成果指標 1 (単位/回)	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値		
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている				達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている				上がっている				上がっている	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている				上がっている				上がっている	
	総合評価					良好である				良好である				良好である	
	総合評価の判断理由 または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 近年、まれな大雪だったが、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 前半の降雪は少なかったが、1月からの大雪や平年より低温のため積雪が多く残ったが、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 12月後半・3月前半にまとまった雪が降り一時積雪が多かったが、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	判断理由： 除雪・排雪の回数が増やすことで、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 例年に比べ降雪量は少なかったが、積雪と融雪を繰り返したため、路面整正に費用を要した。	自己分析： 例年に比べ1月からの大雪のため積雪が多く残ったが、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 例年に比べ極端に降雪量が少なかったが、積雪と融雪を繰り返したため、路面整正に費用を要した。	判断理由： 除雪・排雪の回数が増やすことで、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 近年、まれな大雪だったが、除雪・排雪の回数が増やすことや、堆雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できたが、人件費等の増により経費が増大した。	自己分析： 例年に比べ極端に降雪量が少なかった。また、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 例年に比べ極端に降雪量が少なかった。また、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	自己分析： 近年、まれな大雪だったが、除雪・排雪の回数が増やすことや、堆雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	判断理由： 除雪・排雪の回数が増やすことで、耐雪場所の確保などの対応により、大きな交通障害も起こさず市道の円滑な通行をおおむね確保できた。	現状のまま継続
今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続				現状のまま継続		
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25： 自然現象により大きく変わる部分があるため、今後も、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応が必要で、交通障害が起きないように引き続き必要な事業である。					H28： 自然現象により大きく変わる部分があるため、今後も、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応が必要で、交通障害が起きないように引き続き必要な事業である。					H30： 自然現象により大きく変わる部分があるため、今後も、除雪・排雪の回数が増やすことや、耐雪場所の確保などの対応が必要で、交通障害が起きないように引き続き必要な事業である。				

## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	市道区画線整備事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度						所管課係	土木課維持係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第6期総合計画の位置付け	4-1-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—
目的 (何のために実施するのか)	車両、除雪及び気象条件等により磨耗した道路の区画線を引き直し、道路区画を保全することにより、安全で円滑な道路交通の確保につなげる。						手段 (どのような方法で実現するのか)		業者に委託し、既設区画線の磨耗した部分を4～5年周期で引き直す。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	市道利用者						成果 (どのような効果が得られるのか)		道路中心、歩道の区別が明確になり、また、交差点有無の予測ができることで交通の安全が図られる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行事内容含む)	道路管理者は、道路を常に良好な状態で保つよう維持することとされ、区画線も交通の安全と円滑を図るため保全しなければならない。交通量や除雪作業の頻度にもよるが、概ね4～5年を目途に市内一巡とする。													

### 【DO】

#### 実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 計	
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計
投入された 事業費の 推移	国費	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	道費	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	地方債	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	その他	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
一般財源	計画額	2,990,000	2,990,000	2,990,000	8,970,000	3,100,000	3,080,000	3,080,000	9,260,000	3,899,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	13,199,000	31,429,000
	予算計上額	2,990,000	2,990,000	2,990,000	8,970,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	9,300,000	3,899,000	4,104,000	4,169,000	5,027,000	17,199,000	35,469,000
	実績額	2,877,000	2,898,000	2,908,500	8,683,500	3,013,200	3,078,000	3,056,400	9,147,600	3,812,400	3,888,000	3,996,000	4,785,000	16,481,400	34,312,500
事業費合計	計画額	2,990,000	2,990,000	2,990,000	8,970,000	3,100,000	3,080,000	3,080,000	9,260,000	3,899,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	13,199,000	31,429,000
	予算計上額	2,990,000	2,990,000	2,990,000	8,970,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	9,300,000	3,899,000	4,104,000	4,169,000	5,027,000	17,199,000	35,469,000
	実績額	2,877,000	2,898,000	2,908,500	8,683,500	3,013,200	3,078,000	3,056,400	9,147,600	3,812,400	3,888,000	3,996,000	4,785,000	16,481,400	34,312,500
事業費予算の内容		中央線21.5km他	中央線16.6km他	中央線15.7km他		中央線16.6km他	中央線16.2km他	中央線14.0km他		中央線16.0km他	中央線15.3km他	中央線15.3km他	中央線19.2km他		
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		人件費増により 前年度より増額	前年度同額	前年度同額		諸経費の見直し 及び人件費増により 前年度より増額	人件費増により 増額	人件費増により 増額	人件費増により 増額		
	実績との比較 (増減理由)	入札による減	入札による減	入札による減		入札による減	入札による減	入札による減		入札による減	入札による減	入札による減	入札による減		

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：年間実施延長			指標の求め方：年間実施延長の目標値：24km											
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：交通事故発生件数			指標の求め方：交通事故発生件数 (夏季4月～11月)											
指標	活動指標 1 (単位/km)	計画値	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
		実績値	26	26	26	26	22	22	22	20	13	22	15			
成果指標 1 (単位/件)	計画値	350	340	330	320	310	300	290	280	270	260					
	実績値	367	319	324	243	288	227	300	253	260	184					
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている							達成されていない
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている				上がっている							上がっている
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない							変わらない
	総合評価				良好である				良好である							良好である
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	判断理由：本事業の目的である交通安全が図られており、現段階では、良好と判断した。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	判断理由：本事業の目的である交通安全が図られており、現段階では、良好と判断した。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	自己分析：本事業は、市道の円滑な通行及び安全な通行の確保を保つため、今後も引き続き促進していきたい。	判断理由：本事業の目的である交通安全が図られており、現段階では、良好と判断した。		
今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続								現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：現状では、同額予算で進捗を図り交通安全が図られていると判断しているため継続するものとする。				H28：現状では、人件費増による予算額の微増となっているが、通年どおり交通安全が図られていると判断しているため継続するものとする。				H30：現状では、人件費増による予算額の微増となっているが、通年どおり交通安全が図られていると判断しているため継続するものとする。							

# 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## 【PLAN】

### 事務事業の目的と成果

事業名	市立病院周辺環境整備事業				事業期間	平成 24 年度 ～ 年度							所管課係	土木課土木係
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設	第6期総合計画の位置付け	4-1-2	他に関連する基本事業	1-4-2	2-3-2	5-2-2	-	-		
目的 (何のために実施するのか)	駅を含む市立病院周辺の安全かつ円滑な通行を確保することにより、まちなかの回遊性を向上させ、市立病院の利便性を高め商店街の活性化を図る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		北2丁目通りのロードヒーティング（暮らし・にぎわい再生事業：国庫補助の活用）及び老朽化した北3丁目通りの整備による安全かつ円滑な通行の確保。 市立病院前の交差点信号機に歩車分離方式を導入し、利便性及び回遊性の向上を図る。 駅の橋上化（バリアフリー）による利便性の向上。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	市立病院利用者及び近隣商店街利用者						成果 (どのような効果が得られるのか)		安全かつ円滑な通行が確保される。 市立病院及び駅の利便性が向上する。 商店街の活性化が図られる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	事業開始前から市立病院及び近隣商店街利用者の通行はあったが、北2丁目通りのロードヒーティングの整備や北3丁目通りの改良舗装工事が進み、より安全で冬期も快適な通行の確保が図られた。													

## 【DO】

### 実績

（単位：円）

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額		45,150,000	45,150,000				0					0	45,150,000	
		予算計上額		46,150,000		46,150,000				0					0	46,150,000
		実績額		46,252,500		46,252,500				0					0	46,252,500
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額		50,900,000	31,200,000	82,100,000	42,000,000	40,000,000	30,000,000	112,000,000	17,500,000	35,000,000			52,500,000	246,600,000
		予算計上額		47,400,000	44,100,000	91,500,000	42,000,000	30,800,000	0	72,800,000	17,500,000				17,500,000	181,800,000
		実績額		56,800,000	40,700,000	97,500,000	39,000,000	37,908,000	0	76,908,000	16,416,000				16,416,000	190,824,000
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一般財源	計画額			50,000	50,000				0					0	50,000	
	予算計上額	0	4,010,000	80,000	4,090,000		20,000		20,000					0	4,110,000	
	実績額	4,179,000	36,500	40,000	4,255,500	96,000	0		96,000					0	4,351,500	
事業費合計	計画額	0	96,100,000	31,200,000	127,300,000	42,000,000	40,000,000	30,000,000	112,000,000	17,500,000	35,000,000	0	0	52,500,000	291,800,000	
	予算計上額	0	97,560,000	44,180,000	141,740,000	42,000,000	30,820,000	0	72,820,000	17,500,000	0	0	0	17,500,000	232,060,000	
	実績額	4,179,000	103,089,000	40,740,000	148,008,000	39,096,000	37,908,000	0	77,004,000	16,416,000	0	0	0	16,416,000	241,428,000	
事業費予算の内容	計画額	歩道ロードヒーティング測量設計 L=640m W=2.0m	歩道ロードヒーティング L=640m W=2.0m	北3丁目通り L=110m W=11.0m+4.0m×2		北3丁目通り L=130m W=11.0m+4.0m×2	北3丁目通り L=115m W=11.0m+4.0m×2			北3丁目通り L=60m W=9.0m						
	前年度予算との比較 (増減理由)		工事着工のため	前年度比45.3% 工事箇所、内容が違いため		前年度比95.1% 工事箇所が違いため	前年度比73.4% 工事延長の減	他事業調整による工事の先送り		工事再開 工事延長の減	他事業調整による工事の先送り	他事業調整による工事の先送り				
	実績との比較 (増減理由)	歩道ロードヒーティングをH24から運用する為、早期事業着手した(12月補正)	ロードヒーティング設備及び面積等の精査による増	事業延長の精査及び入札による減		入札による減	工事内容の見直しによる工事費の増			入札による減						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名: —				指標の求め方: —											
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名: 事業実施率				指標の求め方: 実施箇所 (完了) / 予定箇所											
指標	活動指標 1 (単位/ )	計画値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
成果指標 1 (単位/% )	計画値	—	25.0	50.0	—	50.0	50.0	75.0	—	75.0	75.0	75.0	100.0	—	—	—	—
	実績値	—	25.0	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	75.0	75.0	75.0	75.0	—	—	—	—
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている					ほぼ達成されている						ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている					変わらない						変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない					変わらない						変わらない
	総合評価					良好である					普通である						普通である
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 歩道ロードヒーティングを整備したことにより、冬期間において、市立病院利用者等の歩行者の安全かつ円滑な通行が図られた。	自己分析: 北3丁目通りの改良舗装工事に着手し、市立病院等の利用者や大型車両(バス)等の円滑な通行が図られた。	自己分析: 北2丁目通りの歩道ロードヒーティングを整備したことにより、冬期間の市立病院利用者等の歩行者の安全かつ円滑な通行が図られているため良好と判断した。	判断理由: 北3丁目通りの改良舗装工事が継続で実施されたことから、市立病院等の利用者や大型車両(バス)等の円滑な通行が図られた。	自己分析: 北3丁目通りの改良舗装工事が継続で実施されたことから、市立病院等の利用者や大型車両(バス)等の円滑な通行が図られた。	自己分析: 北3丁目通りの改良舗装工事が継続で実施されたことから、市立病院等の利用者や大型車両(バス)等の円滑な通行が図られた。	自己分析: 北3丁目通りの改良舗装工事が継続で実施されたことから、市立病院等の利用者や大型車両(バス)等の円滑な通行が図られた。国道から市役所まで整備が終わったことから、今年度は他事業を優先し、予定工事箇所について次年度以降へ先送りした。	判断理由: 国道12号から工事を継続し、市立病院への利用や救急車の導線となる区間まで整備が完了する事ができた。ただし、H28実施については、他の事業との調整により、工事の実施を先送りした。	自己分析: 北3丁目通りの改良舗装工事が実施されたことから、国道12号より東側の円滑な通行が図られた。また、西6条北通りから西側については、工事を先送りしてありますが、手戻り工事とならぬよう、工事工程と調整を行い、実施することとした。	自己分析: 昨年に引き続き、西6条北通りから西側については、工事を先送りしてありますが、手戻り工事とならぬよう、工事工程と調整を行い、実施することとした。	自己分析: 昨年に引き続き、西6条北通りから西側については、工事を先送りしてありますが、手戻り工事とならぬよう、工事工程と調整を行い、実施することとした。	自己分析: 昨年に引き続き、西6条北通りから西側については、工事を先送りしてありますが、手戻り工事とならぬよう、工事工程と調整を行い、実施することとした。	判断理由: 国道12号から工事を継続し、市立病院への利用や救急車の導線となる区間まで整備が完了する事ができた。また、北3丁目通り改良舗装工事の庁舎建設と調整が必要な区間については、今後、市道改良舗装事業(単独)で調整を行うこととした。		
	今後の方向性					現状のまま継続					現状のまま継続						廃止
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25: 北2丁目通りの歩道ロードヒーティング整備が完了し、歩行者の安全かつ円滑な通行が図られているが、北3丁目の道路整備等についても、市民及び町内会等からの要望も多く、今後も継続が必要であると考えらる。				H28: 北3丁目通りの道路整備については、市立病院への利用や救急車の導線となる区間まで整備が完了することができたが予定通り工事を完成することができなく課題となった。今後は、計画に位置づけられている他の2事業についても早期着手できるように検討が必要である。				H30: 北3丁目通りの道路整備については、市立病院への利用や救急車の導線となる区間まで整備が完了することができたが予定通り工事を完成することができなく課題となった。今後は、計画に位置づけられている他の2事業についても早期着手できるように検討が必要である。							



【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：調査実施率				指標の求め方：調査実施延長／調査対象延長 (L=66.9km)															
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：修繕実施率				指標の求め方：修繕実施延長／調査対象延長 (L=66.9km)															
指標	活動指標 1 (単位/ )	計画値	—	—	—	44.4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		実績値	—	—	—	40.2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
指標	成果指標 1 (単位/% )	計画値	—	—	—	0.0	0.0	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		実績値	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)																				
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)																				
	事業の効率性 (事業費に対する成果)																				
	総合評価																				
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析： 次年度調査終了後に修繕優先順位等の判定を行うこととなるが、現段階で修繕候補箇所が判明した。	自己分析： 昨年、実施できなかった路線についても今年度実施できた。当初、計画していた路線についてすべて予定どおり完了する事ができた。	自己分析： 修繕工事の実施において、補助金の目処がつかなかったが、修繕計画を作成し、後年次から補助金を活用した事業を実施したい。	判断理由： 予定の点検が終わり、個々の路線の状況が把握でき、今後の計画に生かされるものであったため、良好と判断した。	自己分析： 修繕工事の実施において、補助金の目処がつかなかったが、修繕計画を作成し、後年次から補助金（または起債）を活用した事業を実施したい。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：					
	今後の方向性																				完了
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：				H28： 現在、1・2級路線に該当している箇所についてはすべて完了したところである。今後は、状況次第であるが、その他路線についても現在、交付金対応は、できない状況であるが今後実施に向けた検討が必要である。				H30：											